

岩永てるみ・阪野智啓・高岸輝・小島道裕 編

「月次祭礼図屏風」の復元と研究

よみがえる室町京都のかがやき

応仁の乱以前の京都を描いた

唯一の屏風、ここに復元――

東京国立博物館所蔵「月次祭礼図屏風模本」は、江戸時代に「月次祭礼図屏風」を写したもので、その失われた原本は、室町時代中期のものであったと考えられている。

応仁の乱以前の京都の風俗を描いた屏風は他になく、この模本は貴重な絵画資料となっているが、彩色は不完全であり、欠損もあるため、元の絵画がどのようなものであったかは不明な点が多かった。

愛知県立芸術大学を中心に、日本画、美術史、文献史学など多方面の専門家の協働により学際的に原資料の復元が試みられ、その過程でさまざまな新知見が得られた。ベールに包まれた室町時代の京都に光をあてる画期的プロジェクトの成果を公開。



「月次祭礼図屏風」の
復元と研究 ◆よみがえる室町京都のかがやき

岩永てるみ 阪野智啓 高岸輝 小島道裕 編

◇目次◇

序文

【図版編】

「月次祭礼図屏風模本」

復元「月次祭礼図屏風」

倣古／様式／景観／技法／材料／工程

【論考編】

「月次祭礼図屏風模本」の図像復元について

「月次祭礼図屏風模本」復元技法の色と表現

室町やまと絵のなかの「月次祭礼図屏風」

東京国立博物館所蔵模本類と

「月次祭礼図屏風模本」について

「月次祭礼図屏風」に描かれた幕府と神社

「月次祭礼図屏風」に描かれた室町期の祇園会

参考文献一覧

(岩永てるみ)

▶ A4判上製・150頁

定価：本体 16,000円
(税別)

ISBN: 978-4-7842-1985-8

【2020年6月刊行】

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	「月次祭礼図屏風」の復元と研究		本体16,000円(税別)	IBN978-4-7842-1985-8
お名前				tel	本書HPのQRコード
				e-mail	
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代(税込)+送料600円(手数料込※離島は送料実費※)を現品と引替支払) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				



復元「月次祭礼図屏風」



応仁の乱以前の祇園会の様子。山や鉾の巡幸の先頭を牛（乗牛風流）が進んでいるように見える。（河内論考参照）



賀茂祭の場面。装束の描写は、さまざまな同時代資料の検討から材料・技法・色彩を検討した。（阪野・中神論考参照）



手前は正月の幕府の弓始。描かれているのは三条坊門御所（下御所）、奥の神社は三条八幡（御所八幡）と考えられる。（小島論考参照）

思文閣出版既刊図書案内

表示価格は税別

住吉如慶筆 伊勢物語絵巻

伊勢物語絵研究会編

近世における伊勢物語絵の最高水準を示す作品とされる住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」（東京国立博物館蔵）。本書は、絵巻全体の構成や場面解説および解釈の最新研究成果を提示する。絵画史、国文学のみならず歴史学や住宅建築史、さらに文化史や服飾史などの幅広い視点から、如慶が描く伊勢物語絵の魅力にせまる。

▶A4判・328頁／本体27,600円（税別） ISBN978-4-7842-1959-9

※祇園祭の中世 室町・戦国期を中心に

河内将芳著

室町期の都市京都を文字どおり代表する祭礼であった祇園祭（祇園会）を通して、中世京都を考える。祇園会の見物という行為の検討により、その特質をうきばりにし、さらに神輿渡御の神幸路・御旅所と都市空間との関係、戦国期の祇園祭の再興の意味や、「鬨取」の実態についても解き明かす。

▶A5判・360頁／本体4,500円（税別） ISBN978-4-7842-1631-4

琉球船と首里・那覇を描いた絵画史料研究

琉球船と首里・那覇を描いた絵画史料研究会編

第二尚氏時代から明治時代前期（18～19世紀）にかけての、琉球の船と首里・那覇の景観を描いた絵画史料を集成。関係史料を可能な限り広範囲に収集し、計65点を大型判カラー図版で掲載。従来の図録や書籍では観察が困難だった細部の考察や史料間の比較を可能とした。収録図版には、解説を加えるほか、史料をよみとく10本の論考を収録。

▶B4判・184頁／本体18,500円（税別） ISBN978-4-7842-1947-6

※宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所 伊勢物語絵研究会編

これまでまとまって紹介されることのなかった本作。近年発見された色紙も含めて、59面のすべてをカラー、原寸大で掲載し、また、色紙に描かれた伊勢物語の世界の解釈、伊勢物語絵巻・絵本との比較対照、さらに、宗達における色紙の位置づけ、裏書の解説、色紙をめぐる人的ネットワークなどに関する新たな知見を収める。

▶B4変判・220頁／本体19,000円（税別） ISBN978-4-7842-1679-6

描かれた祇園祭 山鉾巡行・ねりもの研究

八反裕太郎著

祇園祭を主題に描かれた絵画作品は数多く、洛中洛外図なども含めれば近世以前だけでも200点をくだらない。しかし、その膨大なゆえに、その全体を見渡す視点が大きく欠落していたといわざるを得ない。本書は、祇園祭の山鉾巡行ならびに江戸の中期に始まる神輿洗のねりものを描いた絵画作品、から、その祭儀の変遷を読み解こうと試みる。

▶A5判・970頁／本体15,000円（税別） ISBN4-7842-1906-3

風俗絵画の文化学Ⅲ 瞬時をうつすフィロソフィー

松本郁代・出光佐千子・杉子女王編

風俗画の歴史的な実証に留まらず、描かれた事象に織り交ざる虚実を読み解くことで、鑑賞されることを意識した美的な演出や、儀礼や慣習から生じた絵の上での約束事や仕掛け、信仰のイメージや地域に根ざした特殊な世界観などといった、人間の営為そのものの原理を探究する。哲学的思考（フィロソフィー）へと解釈を広げた13篇。

▶A5判・434頁／本体7,000円（税別） ISBN978-4-7842-1775-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。